

平成23年度

事務事業評価表(平成22年度の実績評価)

記入年月日
平成 23 年 4 月 1 日

Table with columns for 事務事業名 (塚田伝奨学資金支給事業), 区分 (分選別主要事業, 未来プロジェクト事業, etc.), 事務事業No. (31229013), 課内No. (13), 所属部 (教育委員会), 所属課 (学校教育課), 課長名 (吉原 志朗), 所属係 (総務係), 担当者名 (荒山 幸子), 事業期間 (単年度のみ, 単年度繰返し, etc.), 法令根拠.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

事務事業の概要(事務事業の内容、担当者が行う業務の内容、手順、事業費の内訳等。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事務事業の内容】
条例に基づいて優良な生徒または、学生で経済的な理由によって修学が困難な者に対して、奨学資金を支給し有為な人材の育成を図るもの
奨学資金の支給を受けることができる者は、本市内に引き続き1年以上居住する者の子弟であって高等学校(盲学校、聾ろう学校及び養護学校の高等部を含む。以下同じ。)及び高等専門学校生
【担当者が行う業務の手順】
奨学生を選考し授業料を奨学資金として、毎月、口座振替により支給する。
塚田伝奨学学生選考審査会：審査会の開催・奨学生の選考・決定通知等関係書類作成及び通知
毎月：奨学金の支給手続き
【事業費の内訳】
1名 月9,900円 * 12 = 118,800円
3年3名 * 2年3名 712,800円

Table with 2 columns: (1) 事務事業の目的 (手段, 対象, 意図, 結果) and (2) 指標 (活動指標, 対象指標, 成果指標, 上位成果指標) with units.

Table for (2) 指標値の推移. Columns: 区分, 単位, 20年度(実績), 21年度(実績), 22年度(実績), 23年度(計画), 24年度(計画), 25年度(計画), 28年度(目標).

Table for (3) 投入量(事業費)の推移. Columns: 区分, 20年度, 21年度, 22年度, 23年度, 24年度, 25年度, 28年度, 期間限定総投入量.

(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
昭和52年真壁町大字源法寺在住の塚田伝氏より、真壁町が2,005万円の教育寄付金を受ける。
以降塚田伝奨学資金支給条例を制定し、基金の運用を図った。
昭和52年から平成17年までの29年間で116名の奨学生に授業料として奨学金を支給。支給金額は25,729,800円。2,005万円の基金の取り崩しをせず利子の運用のみで対応。18年度からは基金の取り崩しを行い、奨学資金に充てている。

(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
受給した奨学生及び保護者からは大変感謝されている。

事務事業名	塚田伝奨学資金支給事業	事務事業No.	31229013	所属課	学校教育課
-------	-------------	---------	----------	-----	-------

【See】 2. 評価の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

評価項目		
目的 妥当性	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?) 奨学生が授業料相当の奨学金を修学資金に充てている。	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?) 塚田伝奨学基金により、経済的理由等による修学困難者が、学校教育を安心して受けられる。	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である
	③ 対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?) 塚田伝奨学資金支給条例に基づき対象を決定している。	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である
有効性	④ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?) 塚田伝奨学資金支給条例に基づき対象を決定している。	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) 塚田伝奨学資金支給条例に基づき対象を決定している。	<input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) 他に手段がある <input type="checkbox"/> → 具体的な手段、事務事業名 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 塚田伝奨学資金支給条例に基づき対象を決定している。	<input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる
効率性	⑦ 事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)) 塚田伝奨学資金支給条例に基づき対象を決定している。	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?) 他の業務と兼任している。	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?) 塚田伝奨学資金支給条例に基づき対象を決定している。	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																					
(3)-1 改革改善策 特になし	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>X</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>X</td> <td>X</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			X	低下		X	X
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			X																		
	低下		X	X																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 特になし																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
(3) 2次評価における改革改善案	(4) 2次評価における指摘事項